

情報 2019年度 明治大学情報コミュニケーション学部 解答例(河合塾作成)

[ I ]

(問1) ①

(問2) A ③ B ② C ⑥

(問3) ④

(問4) A ④ B ① C ⑤

(問5) ③

(問6) ②

(問7) ③

(問8) ・既に公表されている著作物であること

・「公正な慣行」に合致すること

・報道、批評、研究などの引用の目的上「正当な範囲内」であること

・引用部分とそれ以外の部分の「主従関係」が明確であること

・カギ括弧などにより「引用部分」が明確になっていること

・引用を行う「必然性」があること

・出典を明示すること

(このうち3つを解答)

[ II ]

(問1) (ア) ③ (イ) ④ (ウ) ③

(問2) ①

(問3) ⑤

(問4) ⑥

(問5) ③

[ III ]

(問1) エ ① オ ⑥ カ ⑦ キ ④

(問2) α ⑧ β ② γ ⑥ ク ⑤ ケ ⑦ コ ④

(問3) サ ⑤ シ ⑥

[ IV ]

(問1) ⑥

(問2) ス ② セ ④

(問3) ①

(問4) ソ ⑤

(問5) ④

(問6) ④

(問7) 誤解は多いと考えられる。本音で語ることが少ない日本では個人の情報をオープンにしていな  
いと考えられ、本コラムではそれをすることで誤解を減らせるとあるためだ。(77字)